

- 福山市は、2023年（令和5年）5月22日にSDGs未来都市に選定され、同年8月31日に福山市SDGs未来都市計画を策定した（計画期間：2023年度～2025年度）。
- 国のSDGs実施指針において、地方自治体には、積極的な取組とSDGsの一層の浸透を図ることが期待されている。
- 国のSDGs実施指針等を踏まえ、次のとおりSDGsを積極的に推進している。

SDGs実施指針の主な項目	2023年度の取組（実績） ～体制づくり～	2024年度の取組（予定） ～普及・啓発～	2025年度の取組（案） ～実践～
①行政内部の体制づくり・各種計画等への反映 <期待される効果> ・部局横断の推進体制の構築 ・職員の理解促進 ・SDGsに関する行政の姿勢・取組の「見える化」 ・市民への普及・啓発	○SDGs推進会議を設置（8月31日） ○全庁での取組推進を指示（2月14日） SDGsを各種計画等へ反映など ○職員研修の実施 ・幹部向け（2月5日）21名 ・一般職員向け ワークショップ（12月20日）23名 動画配信（2月14日～3月4日）1,101名 ・議員向け勉強会の開催（11月20日）30名	○職員研修の実施 ・プラットフォーム活用（7月30日）30名 ・動画配信（9月）（予定）	○職員研修の実施 ・動画配信
②情報発信と成果の共有 <期待される効果> ・市民等の認知度の向上 ・優れた人材の発掘	○SDGsシンポジウムの開催（3月18日） 97名 ○SDGsPR動画の作成	○SDGsモニターツアーの開催（8月4日） 参加者：53名 ○SDGsフェスタの開催（12月22日） 来場者数：1,000名（目標）	○SDGsフェスタの開催 来場者数：2,000名（目標） ◎SDGs啓発コンテンツの達成にかかる支援
③官民連携による地域課題の解決 <期待される効果> ・SDGsに取り組む企業・団体の増加 ・SDGsに資する取組への支援	○SDGsデジタルプラットフォームの構築 （3月29日）	○SDGsデジタルプラットフォームの運営 （6月3日開始） ○SDGs推進アドバイザーの派遣 （8月26日開始）	○SDGsデジタルプラットフォームの運営 ○SDGs推進アドバイザーの派遣 ◎課題解決の促進にかかる支援
④登録・認証制度の構築 <期待される効果> ・SDGsに貢献する企業・団体の「見える化」		○SDGs推進宣言制度（6月3日開始） 宣言団体：103団体（8月22日時点）	○SDGs推進宣言制度（企業・団体） 宣言団体：240団体（目標） ◎個人のSDGsの取組の見える化
⑤SDGsの取組の測定 <期待される効果> ・本市の現状把握 ・今後の施策への反映	○企業・団体向けの認知度調査の実施 （7月24日～8月4日）	○市民向けの認知度調査の実施 （4月30日～5月10日） ○企業・団体向けの認知度調査の実施 （8月22日～9月3日）	○市民向けの認知度調査の実施 ○企業・団体向けの認知度調査の実施

<委員意見>

- SDGs推進宣言団体の増加を目指すのであれば、企業側のインセンティブの更なる検討も必要ではないか。
- 企業・市民への啓発活動を、一層、活性化する必要がある。
- SDGsフェスタについては、ただイベントに参加者を集めるのではなく、SDGsと生活を具体的に結びつけることで市民が「ジブンゴト」として認識できるような工夫を期待したい。